

外来種問題を考えるシンポジウム

ーオオハンゴンソウを中心にー 実施要領

- 1 主催 岩手県立大学総合政策学部
- 2 共催 たきざわ環境パートナー会議
- 3 後援 環境省東北地方環境事務所、国土交通省岩手河川国道事務所、岩手県、滝沢市
岩手日報社、盛岡タイムス社、朝日新聞社盛岡総局、読売新聞社盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、岩手日日新聞社、NHK盛岡放送局環境パートナーシップいわて、岩手生態学ネットワーク、東北地域環境計画研究会

4 開催の趣旨

日本には様々な外来生物種が侵入し、場所によっては自然環境や農林業に大きな被害を与えています。岩手県内にもすでにブラックバス、ブルーギル、ウシガエル、オオハンゴンソウ、オオキンケイギク、アレチウリなどが侵入していることがわかっています。こうした外来生物からの被害を予防するための三原則は、入れない、捨てない、拡げないとされていますが、効果的な外来種対策を行うためには、多くの市民が外来種に対する正しい知識を持つことが必要です。

今回のシンポジウムは、知らない間に岩手県内の各地に広がってしまった外来生物「オオハンゴンソウ」を中心に、多くの市民に外来生物の存在や自然環境への影響などを知っていただくことによって、行政、市民、研究者が協力して今後の対策を考えるきっかけ作りをすることを目的としています。

- 5 会場 アイーナホール
- 6 対象 一般市民 行政関係者 研究者
- 7 日時 2014年11月9日(日) 13:30-16:30
- 8 プログラム(敬称略)

I 基調講演

- ① 日本の外来生物対策 環境省野生生物課外来生物対策室長補佐 立田理一郎
- ② 神奈川県箱根地区のオオハンゴンソウ確認地カルテの作成と駆除
元神奈川県自然環境保全センター箱根出張所 辻本 明

II 事例報告、今後の取り組み

1. オオハンゴンソウ対策 事例報告

- ① 東北地方の外来種・オオハンゴンソウ対策について
環境省東北地方環境事務所 国立公園・保全整備課課長 佐々木 真二郎
- ② オオハンゴンソウ対策について 岩手県内の事例
 - ・盛岡市中津川河川敷のワスレナグサを守る
国土交通省岩手河川国道事務所 盛岡出張所長 及川 俊一
 - ・早池峰山、春子谷地湿原の自然環境を守る
岩手県自然保護課 主任主査 長沼英友
 - ・滝沢市内のオオハンゴンソウの分布調査について
たきざわ環境パートナー会議いきもの探偵隊長 小地沢麻樹
 - ・市民参加によるオオハンゴンソウ分布調査について
岩手県立大学 准教授 島田直明

2. 今後の取り組みについて

- ・環境省、国土交通省、岩手県、箱根、たきざわ環境パートナーシップ会議
コーディネーター・アドバイザー 岩手県立大学 准教授 島田直明